

2004年5月6日

各位

中国国際信託投資公司
丸紅株式会社
株式会社新生銀行
住友信託銀行株式会社

CITICジャパンパートナーズファンドの設立について

中国国際信託投資公司(CITIC)の子会社である CITIC Capital Markets Holding Limited、丸紅株式会社、株式会社新生銀行および住友信託銀行株式会社は、今般、中国への業務展開を加速させる日本企業を支援する投資ファンド（規模200億円）CITIC Japan Partners, L.P.を設立しました。当ファンドは、中国への進出により成長が期待できる、自動車部品、電子機器、産業機械、化学、薬品等の産業を中心とした日本企業への投資および資金供給を目的としております。

昨年、日本の中国を中心とするグレーターチャイナへの輸出量は全体の約25%*を占め、過去はじめて、日本にとって最大の輸出先となりました。日本の中国への輸出は、中国経済の成長に伴い、今後とも拡大することが予想されており、日本企業にとって、中国は最も成長が期待できる国の一つとなっています。

CITIC の国際市場における投資銀行業務、アセットマネジメント業務を展開する CITIC Capital の CEO、張懿宸氏は、「CITIC は1983年に東京事務所を開設して以来、約25年間に亘り、世界の大企業の中国進出を支援してきました。今回設立した日本ファンドは、CITIC のユニークな経営資源、日本の中堅企業の経営者とのパートナーシップを活かし、日本企業の中国での事業展開を支援することを目的としています。」とコメントしております。

CITIC ジャパンパートナーズファンド は、既に第一クロージングを完了しており、本年半ばには、目標金額に到達することが予想されています。同ファンドの主要投資家として、丸紅、新生銀行、住友信託銀行が参画しております。

CITIC Capital、プライベート・エクイティー・グループのマネジング・ディレクターであるブライアン・ドイル氏は、「この度、日本企業への幅広いネットワークを持つ日系企業を投資家として迎えることができました。こうしたファンド投資家を通じて中国での成長が見込まれる日本企業を支援できることを大変光栄に思います。」とコメントしています。

以上

*出所：経済産業省 貿易動向データベース

《CITIC Capital Markets Holding Limited の概要》

北京の中国国際信託投資公司、香港の CITIC Pacific、香港の CITIC International Financial Holding Limited を株主とする CITIC Capital Markets Holding Limited は、CITIC グループの世界水準の金融専門知識や広範なネットワークを活用し、投資銀行、アセットマネジメントや証券ブローカレッジ業務を展開している。CITIC Capital は、香港、上海、東京に拠点を有している。

《中国国際信託投資公司グループの概要》

中国国際信託投資公司（以下 CITIC）グループは、1979 年に設立された中国最大級の金融コングロマリットで、商業銀行業務（CITIC Industrial Bank、CITIC Ka Wah Bank）、投資銀行、アセットマネジメント業務（CITIC Capital）、証券ブローカレッジ業務（CITIC Securities）や信託業務（CITIC Trust）等を経営している。同グループは、多国籍企業との間でこれまでに 300 を超える合併事業を営んできている。